

1. 内政

▼首班指名等に関する動き

・14日、自由民主党は、レアンカ同党第一副党首を首相候補に提案する旨決定。同日、フィラト自由民主党党首は、同党は民主党、自由党離党議員グループ及び一部の無所属議員と新政府発足に向けた協議を行う意向である旨を表明し、ギンプ自由党党首のグループとの協議は実施しない旨発言。同日、パリホヴィチ自由民主党副党首は、ティモフティ大統領と会談し、レアンカ第一副党首を首班に指名する可能性を検討するよう要請。

・15日、ティモフティ大統領は、レアンカ首相代行を首班に指名する大統領令に署名。同日、同大統領は、新内閣には欧州統合政策の継続及び国内改革の履行という問題が課されている旨述べ、議員に対しモルドバの安定回復及び発展のために新政府を信任するよう呼びかけ。

・16日、自由民主党は、新しい親欧与党連合形成に関する合意案を発表。パリホヴィチ副党首は、同案は欧州統合、政治危機の早期克服及び透明な活動の3原則に基づく旨発言。

・16日、フィラト自由民主党党首は、ルプ民主党党首と新内閣結成に向けた交渉の形式に関し協議。協議後、ルプ民主党党首は、自由民主党に新与党連合を形成する意思があるか疑わしい旨発言。

・16日、ティモフティ大統領は、レアンカ首相代行の提案を受け、ギンプ自由党党首のグループに所属するモルドヴァヌ社会問題担当副首相及びシャラル運輸道路インフラ相を解任する大統領令に署名。

▼3日の議会決定をめぐる動き

・14日、自由党議員は、3日に採択され9日に公布された代行政府及び首相代行の権限強化に関する2つの法律の違憲審査を憲法裁判所に請求。17日、同党議員は、同党閣僚の解任に関する16日付大統領令の違憲性に関し同裁判所に

追加請求。

・14日、ゴーチャ無所属議員は、3日に採択された小選挙区・比例区併用制の導入に関する議会選挙法改正を無効とする決議及び議会選挙における議席獲得のための足切りライン変更に関する法律の違憲審査を憲法裁判所に請求。14日夜、憲法裁判所は、ゴーチャ議員による2件の違憲審査請求を棄却。

2. 経済

▼マクロ経済

・15日、EBRDは、モルドバの2013年のGDP成長率見通しを3.0%から2.5%に引き下げた旨発表。

3. 外政

・17日、レアンカ首相(兼外務・欧州統合相)代行は、クラクフで開催されたV4+東方パートナーシップ諸国外相会合に出席。会合後、同代行は、アシュトンEU上級代表との会談においてモルドバの欧州統合問題に関し、また、コジャーラ・ウクライナ外相との会談において沿ドニエストル問題に関し協議。

4. 沿ドニエストル

・14日、シェフチューク「大統領」は、ルーマニアへの道はモルドバの繁栄には導かないとして沿ドニエストルはユーラシア統合路線を選択する旨発言。

・16日、沿ドニエストル合同管理委員会沿ドニエストル代表は、同委員会会合においてベンデル(ドニエストル右岸の都市)郊外へのロシア・沿ドニエストル・モルドバ三者による平和監視所の設置を提案。同委員会モルドバ代表は、ロシア・ウクライナ・OSCE代表に対し安全地帯内の状況の国際監視を要請。

・16日、「国家評議会」は、「最高会議」のベンデル移転に関する決議を採択。17日、モルドバ政府は、沿ドニエストルによる一方的決定を非難する声明を発表。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)